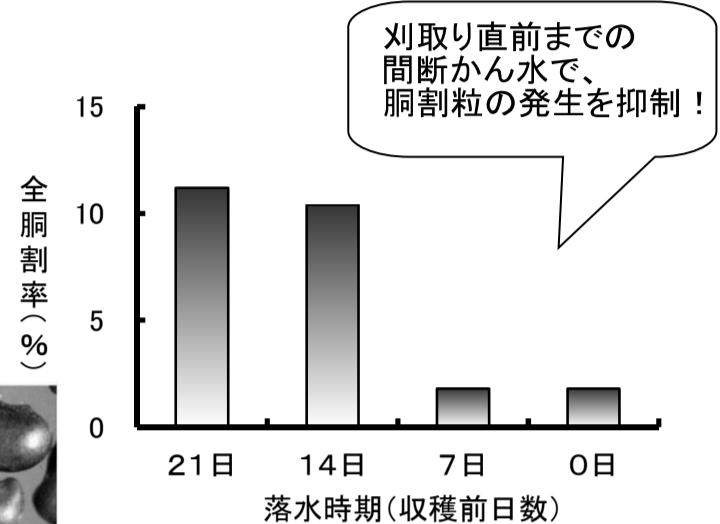


コシヒカ리의出穂期は平年よりやや早く、出穂期以降 10 日間の気温は平年よりやや高めでしたが、その後の気温は平年並からやや低めに推移し、成熟期も平年並と予想されます。

刈取適期を的確に見極め、適期内収穫により高品質なアルプス米に仕上げましょう。

1 刈取りまでの水管理

- (1) 刈取りの5～7日前までは間断かん水を行い、稲体の活力を維持しましょう。
- (2) フェーンなど高温が予想される場合は事前に入水し、急な枯上りを防ぎましょう。



※刈取りの前までにクサネム等の雑草を抜き、異物混入を防ぎましょう！

混入すると
除去が困難...

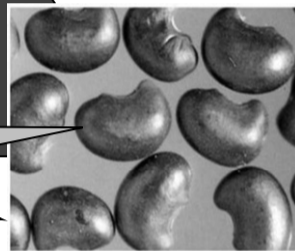


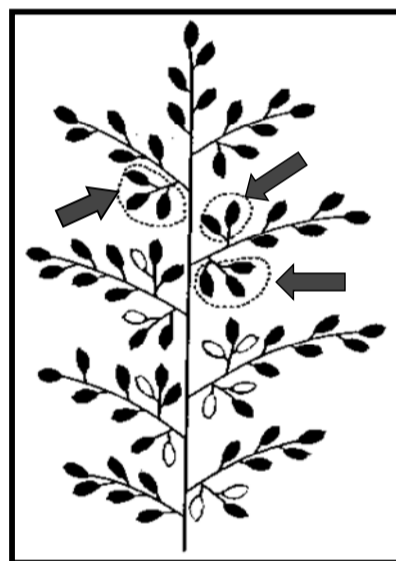
図 落水時期と立毛割粒の関係 (農研)

2 適期刈取

- (1) 籾の黄化状況を確認し、籾黄化率 85%を目安に刈取りを行い、適期内に終了するよう努めましょう。

【コシヒカリ出穂期別刈取時期の目安】

出穂期	刈取適期 (籾黄化率 85%・積算気温 1,050℃)
7月30日	9月8日頃
8月1日	9月10日頃
8月3日	9月12日頃



点線内の籾が黄化したら、籾黄化率 85%の目安だよ。遅れず刈取作業開始！



- (2) 地域により成熟期に差があるので、地区の

刈取適期表示札を参考にしてください。

- (3) 砂壤土や枯上りの早い圃場から刈始め、刈遅れによる

割割米の発生を防ぎましょう。

- (4) 大規模経営体では、適期内に刈終わるよう、刈取開始時期を少し

早め(籾黄化率 80%)にする等、計画的に作業を進めましょう。



<割割米>

割割米が一番困るんだよね...



刈取作業の留意点

- ① 刈取りは、籾が乾いてから開始しましょう。
- ② 扱割回転数、扱き深さ等を適正に調節しましょう。
- ③ ヤケ米発生防止のため、収穫後4時間以内に乾燥機に入れ送風しましょう。
- ④ コンバインの各部につまりや故障が発生した場合は、必ずエンジンを止めてから対処しましょう。

3 カントリーエレベーターやライスセンターからのお知らせ

- (1) 平日利用助成、遠隔地利用助成、早生・晩生利用助成、大口利用助成の、各種利用助成制度を活用しましょう。
- (2) コシヒカ리의平日利用助成の設定日は9/11(月)～15(金)、19(火)・20(水)です (なお、生育・天候等により変更になる場合があります)。

生産記録簿は必ず記帳し、出荷時にJAに提出してください

適正な乾燥調製で胴割米・過乾燥米の発生防止！

4 乾燥作業 ～急激な乾燥は胴割米を発生させます。慎重に乾燥作業を～

(1) 張り込み時のポイント

- ① 籾は、収穫後4時間以内に乾燥機に入れ送風し、ヤケ米発生を防止しましょう。
- ② 収穫した籾の水分が25%以上または20%未満の場合は、下表を参考に乾燥作業をしましょう。

収穫籾の水分	乾燥作業の注意点
25%以上の 場合	<ul style="list-style-type: none"> ・籾の水分のバラツキが大きい場合は、2～3時間の通風乾燥を行い、送風温度を機種標準より下げて乾燥しましょう。 ・籾水分17%程度で一度乾燥を止め、半日程度休止した後に再乾燥(二段乾燥)をしましょう。二段乾燥を行うことで、水分ムラが小さくなり、水分変化も少なくなります。
20%未満 の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場内での胴割粒発生が懸念されるため、乾燥温度を機種標準より下げ(機種標準マイナス5℃の送風温度)、「ゆっくり乾燥」しましょう。 (例 乾燥機の張込量設定つまみ等を下げて調整を行う)



胴割れ注意!!!

(2) 乾燥作業のポイント

- ① 玄米水分が14.5～15.0%になるよう乾燥しましょう。
- ② 外気温や湿度、張り込み量に応じた送風温度にしましょう。
- ③ 籾水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックしましょう。
- ④ 青米の混入状況に応じた乾燥機停止時の玄米水分で乾燥機を停止しましょう。(下表参照)。

乾燥機停止水分の目安

玄米 100 粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	変化なし
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)

5 調製作業 ～作業前の各機器の点検と丁寧な作業がポイント！～

(1) 籾摺作業のポイント

- ① 籾の温度を常温まで冷まし、水分を確認しましょう。
- ② ゴムロールの劣化や減耗している場合は交換しましょう。
- ③ 脱ぶ率が80～85%になるようゴムロールの間隔を調整しましょう。
- ④ 籾摺部へ脱ぶた玄米が再度入らないように、選別部を調整しましょう。

籾水分や穀温の確認を！！



(2) 選別計量のポイント

- ① 皆掛重量は30.5kgに正しくセットしましょう。
- ② ふるい目は1.9mmを使用し、適正な流量で屑米などは確実に除去しましょう。
- ③ 時々、台秤で計量し、重量が正確か、確認しましょう。

